

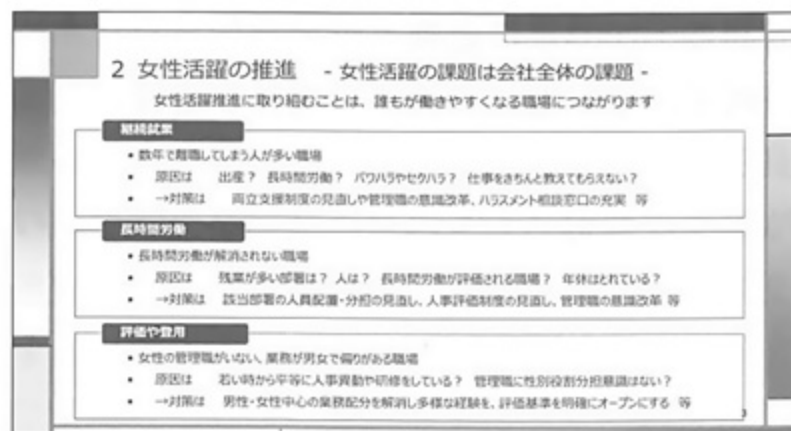


2021年「女性活躍推進セミナー」を開催

10月7日(木)、労働政策委員会は、2021年度「女性活躍推進セミナー」をオンラインにて開催しました。

このセミナーは、同委員会の取組みの一つとして、北海道における女性活躍推進のさらなる進展を目的に毎年開催しており、今回は、コロナ禍により会場での開催とはなりませんでしたが、オンラインミーティング形式により、会員企業から98名（男性42名、女性56名）におよぶ多数の参加をいただきました。

講師には北海道労働局から雇用環境・均等部長 栗山僚子氏、公益財団法人 21世紀職業財団から業務執行理事兼事務局長 橋本かおる氏の両名をお迎えし、栗山氏からは「女性活躍推進に向けた取組みについて」、橋本氏からは「自分らしいスタイル創造」を演題に講話をいただきました。



栗山氏の講話では、北海道の女性労働の現状およびその基礎データの分析・考察に関する情報提供をいただくとともに、女性活躍推進に関する課題等の説明がありました。

女性活躍の推進は会社全体の課題であり、業務の平準化等、ワーク・ライフ・バランスを向上させることにより、女性に限らずすべ

ての人が働きやすい職場をつくることが求められているという旨の解説をいただきました。

次いで、橋本氏の講話では、冒頭でZoomの投票機能を活用し、参加者と双方向のやり取りを行いながら、キャリアを重ねる中でどのように「自分のスタイル」を作ってきたかについて、ご自身の前職の経歴を交えながら講話をいただきました。一般職から管理職、そして執行役員へ任命されるまでの様々な体験をもとに、ご自身が習慣化してきたことや考え方・受け止め方、部下育成など具体的事例を交えながら興味深い講話をいただきました。



最後に、演題にもあるご自身が大切にされている「自分らしいスタイル」の重要性について、「自分のスタイルを軸に持つことの効果」、「同じことをやるなら前向きに・楽しく」、「周囲のメンバーを巻き込む仕事のやり方」等、自らの体験をもとに丁寧に説明いただきセミナーを締め括りました。

6. 私が大切にしていること(私のスタイル)

- ◆働く上で大切にしていること
 - ・ 誠意、自分に嘘をつかない
 - ・ 前向きな気持ち（やるなら楽しく・自然体で）
 - ・ セルフコントロール（自分との対話・良い意味での割り切り）
- ◆仕事のスタイル
 - ・ 全体観を持つ（会社方針とのつながり、社会の動き）
 - ・ 目的意識（そもそも何のためにやるのか）
 - ・ プロセス視点（どのような流れ、仕組みなのか、現地現物）
 - ・ 立場に関わらず、分からないことは謙虚に教えてもらう
- ◆感謝の気持ち
 - ・ 職場のメンバー、家族（夫）、両親

経団連（ポストコロナ時代を見据えたダイバーシティ推進に関するアンケート（2020年10月））によると、女性を管理職・役員へ登用するうえでの課題として、女性の意識や男性役員・管理職の意識、「ロールモデルの少なさ」を挙げる企業が多い結果となっています。

道経連では、今後も女性活躍のさらなる推進に資する取組みについて、今回のセミナー同様、幅広い視点からの情報提供を中心に継続的に進めて参ります。

7. 最後に

- ◆自分のスタイル(軸)を持つことの効果
 - ・ 心が安定する一力の発揮ができる
 - ・ 何が起こっても、何とかできるという（前向きな気持ち）
- ◆同じことをやるなら「前向きに・楽しく」
- ◆活躍ステージ（昇格、役割拡大）が広がると、より周囲のメンバーを巻き込む仕事のやり方（リーダーシップが必要）

仕事を通じて、「自分を高める、磨く」ことにチャレンジしてみてください。

(労働政策局 山田 高志)